

栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	徳島県
再委託先	那賀郡那賀町

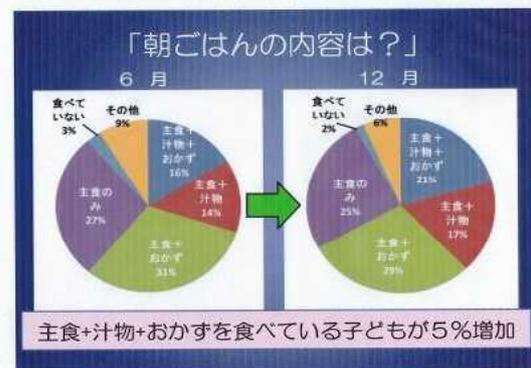
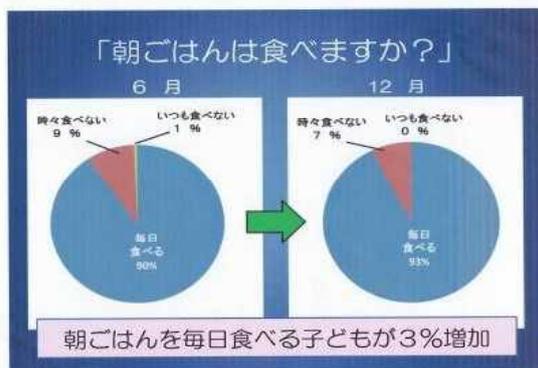
1 事業推進の体制

実践中心校	相生中学校
協力校	相生小学校, 桜谷小学校, 木沢小学校, 平谷小学校, 鷺敷小学校, 木頭小学校 北川小学校, 上那賀中学校, 鷺敷中学校, 木頭中学校
関係機関	相生学校給食センター, 鷺敷学校給食センター, 木頭学校給食共同調理場

2 具体的な取組等について

テーマ1	学校食育推進体制の整備
評価指標	那賀町学校食育推進委員会の実施回数を年1回から年2回に
効果	年度初めの計画通り, 年2回実施し協力体制が確立した。
<p>(1) 那賀町学校食育推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成25年7月2日 出席者19名 ・第2回 平成26年2月4日 出席者15名 <p>那賀町における児童・生徒の食育を推進すべく, 平成20年に「那賀町学校食育推進委員会」が発足されたが, 計画的な活動が進んでいないのが現状であった。</p> <p>今年度, 徳島県教育委員会の指導を仰ぎながら, 「那賀町学校食育推進委員会」の規約を改正, 推進委員を再編成し, 那賀町役場保健師や管理栄養士, 那賀町PTA連合会会長も会員として加わった。委員会では, 各学校での現状や課題についての共有化を図り, 今年度の事業内容について協議され, 活発な活動の場となった。</p> <p>(2) 食育リーダー部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成25年7月2日 出席者12名 ・第2回 平成25年8月26日 出席者11名 ・第3回 平成26年2月4日 出席者11名 <p>那賀町内での課題解決のための, 具体的方策について話し合い, パワーアップ作戦の指導案の検討を行った。また, 地域の方を講師として地域に伝わる「はんごろし」を実習し, 活発な活動を行うことができた。今年度の反省をふまえ, 次年度の取組具体策について協議, 計画を立てることができた。</p>	
テーマ2	食に関する指導の充実
評価指標	アンケート調査でのバランスのとれた朝ごはん内容数値を15%から20%へ
効果	主食+汁物+おかずを食べている子どもが5%増加した。

(1) 食育推進に関するアンケート調査の実施



- ・第1回 平成25年 6月初旬 児童・生徒・保護者・学校管理職対象948名
- ・第2回 平成25年12月下旬 児童・生徒・保護者・学校管理職対象917名

一日の始まりである朝ごはんについての継続した指導を実施してきた結果、アンケートを、12月にも実施したところ、那賀町全体で朝ごはんを毎日食べる子どもが3%増加した。また、朝ごはんの内容についても、主食と汁物とおかずを食べている子どもが5%増加して、栄養バランスのとれた朝ごはんの内容について、改善を促すことができた。



(2) 「徳島県学校食育推進パワーアップ作戦」の実施

平成25年10月30日：木沢小学校、12月13日：驚敷小学校
12月18日：桜谷小学校、
平成26年 1月16日：木頭小学校、1月29日：平谷小学校
2月18日：北川小学校、2月19日：相生小学校

那賀町内すべての小学校における、6年生または複式学級の高学年で、『朝ごはんて元気な一日』と題した食に関する指導の授業を実施した。授業を通して、栄養バランスのとれた朝ごはんについて理解させることができ、理想の朝ごはんを食べるために自分たちができることを考えさせ、実践していくための目標を持たせることができた。

(3) 実践中心校での取り組み

① 特別活動（学級活動）

10月 8日 1年生26名 「朝ごはんて元気な一日」

② 他教科との関連：家庭科

10月31日 1年生26名 「自分たちの考えた朝ごはん作りを計画しよう」

③ 他教科との関連：家庭科（PTA参観日親子料理教室）

11月 6日 1年生26名及び保護者10名

「朝ごはんて元気な一日」と題した自分たちの考えた朝ごはん作り



【相生中学校保健体育委員会の発表】

④ 他教科との関連：保健体育

10月24日 3年生19名
「健康な生活と病気の予防」

⑤ 保健体育委員会の活動

11月17日 ふるさと学習発表会
全校生徒・教職員及び保護者対象
「朝ごはんのたいせつさ」についての劇・発表
全学年を対象に授業や様々な活動の中で、朝ごはんの大切さについて、啓発活動が実施できた。

テーマ3	学校給食の充実と地場産物の活用
評価指標	生産者訪問を毎月実施し掲示資料を各小学校へ配布する
効果	継続した活動ができ、児童の地場産物に対する意識の向上につながった。

(1) 学校給食の充実

① セレクト給食の実施

平成25年 7月17日：夏のセレクト給食、12月19日：クリスマスセレクト給食
平成26年 2月24日：和食セレクト給食

「食べ物や学校給食に対する子どもたちの関心を高める。」「食べ物を選択する力をつける。」「給食時間を友だちと有意義に過ごす。」の3つを目的に、毎年3回学期ごとに実施している。

② 「高校生が発案した学校給食献立」の入賞献立を学校給食へ活用

ア 『平成23年度レシピ集』より ・さつまいものソイシチュー ・徳島ビビンバ丼
・葉っ！チャーハン ・あっさり鳴門ワカメのスープ ・さつまいものポテトサラダ
・三色しゃきしゃきみそマヨサラダ ・金時のミネストローネ ・三色かき揚げ

イ 『平成24年度レシピ集』より ・鳴門カレー ・ミルクカレースープ
・かぼちゃとれんこんのポタージュ ・ポテトミルクスープ

入賞献立を大量調理用アレンジし活用している。



③ 『那賀町学校給食レシピ集』の作成
 那賀町の学校給食を紹介する『那賀町学校給食レシピ集』の冊子を作成した。レシピは那賀町や徳島県内の地場産物を活用した人気メニューで、学校給食画像を使用し掲載した。また、那賀町内の給食利用物資生産者の取材画像や各学校での給食風景も取り込んだ。

3月、町内の小学校・中学校に在籍する保護者全世帯を対象に配布し、各家庭での学校給食への関心を高めるとともにバランスのとれた食事に対する意識を高める一つ的手段とした。

(2) 地場産物の活用推進

① 地場産物の学校給食への活用

地元食材を使って試作、開発したメニューを導入

ア 晩茶の活用

○「晩茶飯」：濃いめの晩茶と晩茶の粉を使ってご飯を炊き、給食に提供

○「晩茶揚げ」：揚げ衣に晩茶と晩茶の粉を混ぜ込み、ちくわとれんこんを揚げて提供

○「晩茶むしぱん」：晩茶と晩茶の粉を練り込み、蒸しパンとして提供 [晩茶むしぱん]



[晩茶揚げ]



イ ゆずの活用

○「ゆずパン」：ゆずの皮を加工し、「ゆずピール」としてパンに混入

ゆずの皮の渋みをどれくらい少なくしたらいいか、甘味をどれくらい加えるか、硬さをどれくらいにするか等パン屋さんに度々の改良を重ねていただいた。

今では、子どもたちの喜ぶおいしい「ゆずパン」として、那賀町の学校給食に何度も取り入れている。

○「手作りゆずゼリー」：ゆず酢から作った濃縮「ゆずジュース」を使いゼリーにして提供

② 生産者との交流と啓発

・那賀町内の給食利用物資生産者を訪問し、取材した内容を、毎月掲示資料『那賀町の地場産物』として全ての小学校へ配布した。

4月：山菜 5月：グリーンリーフ

6月：オクラ 7月：スダチ

9月：晩茶 10月：米

11月：マッシュルーム 12月：ユズ酢

1月：ユズピール 2月：菜の花

3月：イチゴ



[晩茶の掲示]

・生産者との交流と啓発について継続した活動ができ、生産者の苦労や工夫を知らせることで生産者に対する尊敬や感謝の気持ち



を持ちを高めたり、地場産物に対する児童の意識の向上につながったりした。

テーマ1～3に共通する取組

評価指標	家庭・地域との連携を図り、食育を推進する。
効果	町内独自の活動として、生活習慣病予防教室や感謝祭などを行うことができた。

(1) 生活習慣病予防教室

- ① 上那賀中学校 10月2日 2年生8名 ヘルスマイト2名
内容：「野菜を食べよう・おやつに含まれる砂糖の量」
献立：オムライス・水菜サラダ・きのこスープ
- ② 木沢小学校 10月15日 全児童7名 ヘルスマイト4名
内容：「おやつに含まれる砂糖の量」 献立：フルーツ白玉・さつまいもプリン
- ③ 木頭中学校 10月18日 1年生7名 内容：「生活リズムについて」講義
- ④ 桜谷小学校 10月22日 1～4年生10名 ヘルスマイト3名
内容：「よくかんで食べよう」 献立：野菜入り肉まん・コロコロサラダ
- ⑤ 木頭小学校 11月8日 5・6年生13名 ヘルスマイト3名
内容：「野菜を食べよう・生活リズム」 献立：簡単ドリア、シャカシャカサラダ
- ⑥ 鷲敷中学校 11月12日 2年生13名 ヘルスマイト4名
内容：「野菜を食べよう・よくかんで食べよう」
献立：オムライス、鮭のパン粉焼き水菜サラダ、りんご
- ⑦ 北川小学校生 11月14日 全児童14名
内容：「野菜を食べよう、生活リズムについて」講義
- ⑧ 平谷小学校 11月19日 3・4年生7名 ヘルスマイト3名
内容：「おやつの食べ方について」 献立：ラーメンサラダ、マシュマロヨーグルトムース
- ⑨ 相生小学校 11月27日 6年生22名 ヘルスマイト5名
内容：「野菜を食べよう、生活リズム」 献立：オムライス、水菜サラダ、きのこスープ
- ⑩ 相生中学校 11月29日 1年生26名 ヘルスマイト5名
内容：「野菜を食べよう」 献立：オムライス、水菜サラダ、きのこスープ
- ⑪ 鷲敷小学校 12月5日 6年生20名 ヘルスマイト4名
内容：「野菜を食べよう・食品の選択のしかた」
献立：小松菜ごはん、揚げないから揚げ・シャカシャカサラダ・もやしスープ、みかん
・那賀町健康福祉課の保健婦や那賀町栄養士、食生活改善推進員の協力のもと、家庭での望ましい食習慣形成のための料理教室を全小・中学校で実施した。

(2) 親子料理教室等

- ① 相生中学校 11月6日 1年生及び保護者等40名 内容：「朝ごはんて元気な一日」
献立：1班：フレンチトースト、ハムエッグ、トマトサラダ、コンソメスープ
2班：ごはん、目玉焼きとソーセージのソテー、コンソメスープ、ぶどう、オレンジジュース
3班：ごはん、ハムエッグ、酢の物、みそ汁、オレンジジュース、りんご
4班：チャーハン、卵焼き、きんぴらごぼう、みそ汁、ぶどう
5班：ピザトースト、目玉焼きとウイナ、ポテトサラダ、フルーツヨーグルト、オレンジジュース
・生徒の考えた朝ごはんメニューを親子で実習することにより、朝ごはんの大切さ、料理を作ることの楽しさ、自分の朝ごはんを改善しようとする意欲、親子の触れ合いの大切さ等を知らせることを目的とした。親子料理を通し、家庭での食事づくりに生かすことができた。
- ② 鷲敷小学校 11月9日 全児童、保護者の希望者 60名
内容：「親子でたのしく！簡単キャラ弁をつくろう」
献立：まっくろくろすけおにぎり、ちびトトロのおにぎり、お花のたまご焼き
まぐろと大豆のごまがらめ、よつばのウインナ、ほうれん草のあえ物
・保護者教育安全委員会の主催で行われ、児童と保護者が一緒にキャラ弁作りを実施した。親子の交流を深めたり、児童の食への関心を高め、家でもお手伝いをしようとする態度を養ったりすることを目的とした。
- ③ 和食実演料理教室 10月16日 相生中学校3年生
内容：「箸の持ち方と会席料理」

・調理師会員（なごみ会）による指導のもと、日本の伝統的な会席料理について、箸の持ち方や料理の配置などについて具体的に講義を受け、一人ひとり巻き寿司を巻く実習を実施した。



[相生中学校和食実演教室]

(3) 学校給食試食会

・6月2日：北川小学校 6月4日：鷲敷小学校 6月7日：相生小学校
学校給食の目的や内容、かむこと等について指導し、児童・保護者の学校給食に対する理解を深めるとともに、家庭での食生活改善を図った。

(4) 桜谷小学校感謝祭の実施 11月26日



[感謝祭の様子]

対象：地域のお世話になった人たちや保護者26名



[感謝祭の料理]

料理：

- ・はんごろし
- ・もちつき
- ・おにぎり
- ・豚汁
- ・ゆずピール

・学校でお世話になった地域の方々を招待し、児童・教職員全員で作った郷土料理などを食べていただいたり、ミニ発表会をしたりして、感謝の気持ちを表した。

3 事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

- ① 那賀町の学校食育推進体制は、調理場の統廃合や人口の減少による学校廃校の問題を抱えるなか、学校食育委員会が軌道に乗りはじめた。
- ② アンケートの結果、那賀町の児童・生徒の問題の1つが朝ごはんの内容であった。そこで、徳島県の『パワーアップ作戦』を受け、「朝ごはんで元気な1日」と題し朝ごはんの内容について、全ての小学校で学級活動での授業を実施することができた。
- ③ 地場産物活用促進の一環として那賀町内の生産者を訪問し、その内容を掲示資料として各小学校に配布したことが、児童や生徒の地域とのつながりを深めたり、野菜などの地場産物に対する認識を新たにしたりすることにつながり、食に対する意識が向上した。
- ④ 那賀町健康福祉課や那賀町食生活改善推進員、地域農家等との連携により、児童生徒やその保護者を対象に行ったさまざまな食育推進の活動を通して、食生活改善に対する関心が高まりつつある。

4 今後の課題（今回の事業により新たに見えた課題など）

- ① 成人期の糖尿病有病率が高い那賀町では、食に起因する健康課題に向け、小児期から望ましい食習慣や生活習慣を身につけさせるため、食に関する指導の継続・充実を図らねばならない。
- ② 那賀町は、広い校区に小規模校が点在している。人口減少による学校統廃合の問題を抱えているため、配送校における教職員の共通理解を図り、診療所の医師、学校医、学校歯科医、学校薬剤師などの関係機関と協力体制を整えていく必要がある。
- ③ 学校における教育活動全体を通して、食育推進に取り組む支援体制を確立し、指導の展開を図ることが不可欠である。
また、家庭や地域社会とも連携を密にし、県民的課題である、糖尿病予防対策とも関連させ、子どもの実践力向上へつなげた食育の推進が図られるよう、日々研究を進めていきたい。